



SESERAGI-MISHIMA  
ROTARY CLUB  
WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルジー

RIテーマ REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY

こころの中を見つめよう、博愛を広げるために

クラブテーマ「会員同志の職業を理解し出来ることはし助け合おう」会長 渡邊照芳

副会長 太田政人 幹事 山田定男

第1077回 例会  
2012.2.3

司会:久保栄子君 指揮:石井和郎君

ロータリーソング「奉仕の理想」

事務所 三島市中央町4-9 小野住理中央町ビル2F  
TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

## 会長挨拶

会長 渡邊照芳君

今日は、中山和雄君の職業紹介をさせていただきます。中山君の職業は土地家屋調査士で、土地の測量・分筆・建物の登記等の仕事です。この仕事に入ったきっかけは、高校卒業後19歳で九州大分県日田から出てきて富士の製紙会社で5年間勤めていた頃に、色々な資格を取ろうと思い毎年ひとつずつ資格を取っていた。最初は建築士の資格を取りたかったが、建築士の資格は受験資格があり、あきらめて土地家屋調査士の資格に挑戦した。当時もかなり難関であり、内容がどの様なものかも解らなかつた。しかし本来の負けん気が出てどうしてもこの資格が取りたくて、会社をやめ、東京の専門学校へ通って昼間土地家屋調査士の会社に勤めながら苦節3年土地家屋調査士の資格をとりました。そして昭和49年28歳の時に三島に来ました。何故三島を選んだかと言うと、県下の中でも浜松に次ぐ2番目に登記の事件件数が多く又土地家屋調査士の数も多かったので新しく事務所を出してもやっていけるだろうと思った。最初は裾野にある事務所で1年間お世話になり、29歳で三島のある事務所の一部を間借りして仕事を始めた。



今考えると色々な人に助けられ仕事を始められたと思う。そして3年間色々な人に紹介していただき仕事もかなり増え今では当たり前になっているが測量分筆も後々問題が起らぬ様に近隣にしっかりと立ち会っていただき仕事をして来たことが今の基礎になっていると思う。そして35年間仕事をやってきて大変な事も沢山あったが、根が楽天的な性格であり、また回りの人が自分を助けてくれたと思う、そして50歳の時ロータリーに入会させていただき色々な人と出会い自分自身丸くなったと思う。

会社の額に飾ってある西郷南州さんの言葉「半窓閑夢」の言葉が好きです。この意味は常に窓を半分開けておけば人が常に見守ってくれる。この仕事は、個人の資格がないと出来ない仕事なので早く後継者

が資格を取ってもらい、自分はぼちぼちと仕事をして、仲間達と好きなマージャンとゴルフと旅行をやりたい。

中山さんからよく出る言葉があります。「人は自分一人で生きているのではなく人に生かされている」九州の日田から19歳で出てきて、色々な人に出会い、生きてきた実感のある言葉だと思えます。ロータリーに入って15年、あと5年経つと本当にまん丸になってしまうと思えます。お互い頑張りましょう。

## 出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	24/33	72.73%	25/33	75.76%
今回	26/34	76.47%	会員総数	35名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

岡君、加藤君、小林君、杉山(順)君、田中君、土屋君、望月君、山本(章)君

## おめでとう

会員誕生日 2月4日 内田憲一君  
入会記念日 2月14日 服部光弥君

## 幹事報告

幹事 山田定男君

1. 次週例会は12日(日)のIMに振り替えになっております。

バスの時間を厳守してお集まり下さい。

ブケ東海 12時10分

三島駅前楽寿園北口前 12時30分

設置場所：インドネシア共和国

ジョグジャカルタ特別州王宮内

設置期日：2005年

浄水能力：飲料水1・2・3次処理、 毎分40リッター

水 源：王宮内の井戸水

機会があつて、2001年9月にインドネシア共和国、ジョグジャカルタ特別州の州知事(ハメンク・ブオーノ王10世)を紹介され、会見の中で私の職業の話を聞き、地域の飲料水の問題について話され、協力を求められました。そこで王宮の飲料水をボランティアで改善することを提案して、実施に向け準備を進め2003年2月に使用を開始し、現在に至っている。使用開始後は年1回ほど現地に出向き保守点検をおこなっている。

#### ・当地域の水事情

当地域の水事情は、オランダ植民地当時の水道施設を使用しており水質は汚染され飲料水には適しません、また井戸水においても同様であります。今回の王室の井戸水についても(浄水機の原水)日本で水質検査を行った結果細菌並びに汚染物質が検出され飲料には適しませんでした。そのため日本において、汚染物質の濾過方法を休日を利用して半年間程を掛けて試験装置で実験を行い浄水機の機能を決定しました。浄水機の製作には4ヶ月ほどかかり、各装置を分解し梱包(重量約600Kg)して、清水港→ジャカルタ港→陸路でジョグジャカルタまで輸送しました。その後2003年2月に現地において浄水装置の設置を行い試運転をして完成引き渡しを行いました。当時は王室で飲める水が出来たと、テレビ、新聞で報道されました。後日王室が地元にあるガジャマラ国立大学に依頼して濾過水の分析をした結果大変良い水質であるとの報告がありました、インドネシアには、外資系のミネラルウォーターがありますが、それより良い水質であるとのことでありました。ハメンク・ブオーノ王家は300余年の歴史がある王室で現在の王は10世で今でも民衆の信頼は厚く王は神としてうやまわれている、また王室の水は神の水として民衆に親しまれ扱われている。

#### ・インドネシアの歴史とジョグジャカルタ特別州の紹介

インドネシア共和国は、ジャワ・スマトラ・カリマンタン・ティモール・ギニア等からなる70余の多民族の国家であります。人口は、2億3千万人その内、イスラム教徒が2億人にのぼるといわれます、またインドネシアの国力を表すときに挙げられるのは、天然資源の豊富さであります、特にすず鉱やニッケルをはじめとする鉱物資源、石炭や天然ガスといったエネルギー資源であります。これらの資源はまだ未開発の地域が多くあります。又観光地として、バリ島は特に有名であります。

・ジョグジャカルタ特別州は南はインド洋に面し、中部ジャワ州に囲まれている。ジョグジャカルタ特別州は第1級地方自治体であり、特別行政地域であります。ジョグジャカルタ市の他4県の農村部に分かれ、全人口は、約310万人でその内ジョグジャカルタ市は約60万人である。市の特徴は教育学研都市で、4万人の学生がいるガジャマダ

国立大学をはじめとする、多くの教育施設があります。また州民衆は絶対的なアラブ至上主義イスラム文化を異として、住民は独自の文化と歴史を尊敬する穏健なイスラム教徒が大多数を占めている。16世紀後半、オランダ東インド会社に制圧され植民化されていく。17世紀初代ジョグジャカルタ国王はハメンク・ブオーノ1世である。国王はオランダの強制栽培制度の導入をされ、国王はオランダの下僕となり、オランダの植民地時代を通じて植民地支配を支える、土着の支配官吏として存続した。インドネシア独立戦争の時期、ジョグジャカルタ、ハメンク・ブオーノ9世(現王の父)は国際情勢を読んで独立に協力したため、オランダの支配に抵抗するインドネシア共和国の臨時首都となり特別行政地域としてスルタン領の存続をみとめられた。その後1942年太平洋戦争の最中、日本軍の攻略によってオランダの植民地支配は崩壊した。日本軍により全域を軍政支配に置かれ、石油をはじめとする天然資源の確保のため、日本軍は現地住民の協力をとりつける必要があつた。そのため軍政下ではインドネシア人に対する緩和政策をとり、しかるべき後に独立させる方針を決定した。そしてオランダによって捕らわれたスカルノを代表とする多くの民族指導者達を解放し、彼らの指導力を利用して、物的・人的資源の調達をはかろうとした。一方民族指導者達も、軍政によってあたえられた地位を活用して民衆に語りかけ、民族意識を鼓舞し、スカルノらは民族の指導者としての地位を確立した。また、軍政当局は東インドにおける兵力不足を解消するため、兵補や郷土防衛義勇軍を設立して、現地住民の子弟たちに軍事教練をおしすすめた。その訓練は過酷を極めたが、これらの軍事教育をうけた青年達が、次の独立戦争でオランダと戦うインドネシアの軍事組織の将校団を形成していくことになる。1944年日本は、インドネシアの独立を推し進め、国旗と国家の斉唱を解禁し、独立準備委員会を発足させた。翌年スカルノらによって独立宣言する方針を決定し、日本政府も承認した。しかし、1945年8月15日に日本がオランダを含む連合軍に降伏し、念願の独立が反故になることを恐れ、スカルノら民主主義者は同月17日にスカルノが大統領に選出され、植民地支配からの独立宣言をおこなった。しかし、オランダはこの独立宣言とスカルノの大統領就任を無効とし、独立を目指すスカルノら民族主義者と、日本軍の武装解除を行ったイギリス軍、および植民地支配再開を願って戻ってきたオランダ軍の間で4年間にわたってインドネシア独立戦争が展開された。戦前のオランダによる熾烈な搾取を排除し独立を目指す人々の戦意は高く、刀剣、竹槍、棍棒、毒矢、罠などの武器の他、降伏後に日本軍が去ってオランダやイギリスの管理下に置かれた兵器庫から奪ったり、降伏を良しとしない日本軍人の一部が横流した武器、弾薬で武装し、様々の手段で連合軍を苦しめた。また独立派には、日本軍政下で独立派への軍事教練を行っていた、日本軍人が2000人加わり、活躍しその半数は戦死したものの戦闘に参加した者もいた。この戦争の結果、疲弊消耗の極みに達したオランダ軍はようやく再植民地化をあきらめ、1949年12月国連の斡旋でハーグ円卓会議によりオランダは正式にインドネシアを独立を承認した。その後インドネシアは独立を宣言し、初代大統領にスカルノが就任、その後スハルト・ハビビ・ワヒド・メガワティ、現在はユドヨノ大統領と続いている。



## スマイルボックス

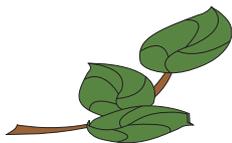
**渡邊照芳君**:2/5当社恒例のもちつき大会を行います。会員の皆様も時間がありましたらおもちを食べに来てください。石井司人さんにはご協力いただきましてありがとうございます。

**中山和雄君**:こんばんは。今日渡邊会長さんが私の職業の紹介をしていただけるそうで、ありがとうございます。

**中村 徹君**:先週はクラブフォーラムで大房・太田・山本会員にお話ししていただきありがとうございました。いつものようにプレゼンテーションが得意でないので週報にまとめました。よろしくお願い致します。昨日出産した褥婦さんがインフルエンザにかかっていて入院患者さん、職員へタミフル処方する等、今日は危機対応に追われました。皆様もマスク、うがいをして気を付けて下さい。

**Bテーブル**:1月27日Bテーブル会を”きみか”にて開催しました。おもちゃの話から近現代史の話、そしてこけしの話…。楽しい時間を過ごすことができました。

**片野誠一君**:本日の卓話宜しくお祈いします。



### 入会おめでとう



遠藤修弘(のびひろ)君

生年月日 昭和43年4月28日  
代表事業所 渡辺労務管理事務所  
役職 職員(社労士)  
住所 三島市富田町13-30  
TEL 055-971-2247

## PHOTO GALLERY

